

つぎの文しよを 読んで、 もんだいに 答えましよう。

妹が、クレヨンで絵をかいていた。

「見て見て、上手でしょう。」

のぞいてみると、まるで線ばかりで、何の絵かさっぱり分からない。

「なに、これ。ぐちやぐちやじゃん。」

ぼくがわらうと、妹は口をぎゅっとむすんで、絵をうしろにかくしてしまった。

夜、お母さんが、ぼくをよんだ。

「これ、見てごらん。」

れいぞうこに、さっきの絵がはってあった。よく見ると、大きなまらが四つ、な
らんで手をつないでいる。いちばん右のまるには、ぼうしのようなものがかいてあつ
た。

「お父さんとお母さんと妹と……。」

そのぼうしは、ぼくがいつもかぶっている、青いぼうしだった。

ぼくは、妹のへやへ行った。妹は、ふとんの中で、まだ口をとがらせていた。

「さっきは、ごめん。あの絵、ぼくもいたんだね。」

妹は、ふとんから顔を半分出して、こくんとうなずいた。

(このもんだいのための書きおろし)

(一) 妹の絵は、はじめ、ぼくにはどう見えましたか。文しよから十字まで書きぬきましよう。

[illegible]

(二) 「口をぎゅつとむすんで」とありますが、このときの妹の気もちとして、あうものを

アゝウから一つえらびましょう。

ア
絵をほめられて、うれしい気もち。

イ
ねむくて、早くねたい気もち。

ウ　ぼくにわらわれて、かなしくやさしい気持ち。

(三) いちばん右のまるにかいてあったぼうしは、何でしたか。文しようから二十字までで書きぬきましょう。

[illegible]

(四) ぼくが妹に「ごめん」とあやまっただのは、なぜですか。三十五字までで書きましょう。

[illegible]